

令和6年能登半島地震 能登半島 道路の緊急復旧の状況

令和6年1月30日(火)7時00分時点
国土交通省・石川県

- 1/2から幹線道路の緊急復旧に着手。24時間体制を構築し、地元を中心とした各建設業協会や(一社)日本建設業連合会の応援を受け、緊急復旧作業を順次実施。
- 沿岸部では被災箇所が多数確認されているため、自衛隊と連携し、内陸側・海側の両方からくしの歯状の緊急復旧も進めており、10方向で通路を確保。
- 孤立集落は1/19に実質的に解消。引き続き、水道・電力などの要望、自治体の要請を踏まえ、緊急復旧を実施。

主要な幹線道路における緊急復旧の進捗率

	1/7 7時	現在
半島内の 主要な幹線道路	約6割 ⇒	約9割
うち国道249号 沿岸部※1	約2割 ⇒	約8割 (迂回路を考慮:約9割)
沿岸部への到達 ※2	6方向 ⇒	10方向

※1: 輪島市門前町～珠洲市役所、※2: 内陸側・海側の両方

孤立地区数の推移※3

1月5日8時	33地区 (最大3,345人)
1月29日16時	実質的に解消 (3地区10人)※4

※3: 内閣府防災資料より
※4: 避難の意向なし

生活インフラ復旧に必要な重要箇所の緊急復旧状況※5

優先復旧の要望数	43箇所
うち完了数	24箇所(約6割)

※5: 水道、電力、通信、放送事業者より聞き取り

写真③ 国道249号法面崩落



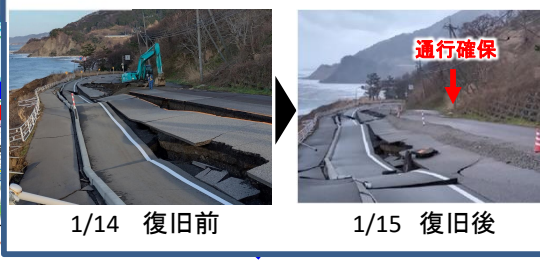
写真④ 国道249号大谷ループ橋



写真⑤ 国道249号大谷トンネル



写真② 国道249号緊急復旧完了



凡例

- (Blue line): 国交省対応(走行可能)
- (Brown line): 県対応(走行可能・この他にも作業を実施)
- (Green line): 自衛隊対応(走行可能)
- (Red line): 自動車専用道路(走行可能)
- ≡≡≡ (Red dashed line): 自動車専用道路(走行不可)
- ✕ (Red X): 被災規模 大
- (Red dot): 孤立集落(内閣府防災資料)
- ★ (Green star): 国復旧業者作業箇所
- (Yellow square): 沿岸部への到達点

写真① 国道249号中屋トンネル

